

第3回 京都府交通需要マネジメント推進会議 議事要旨

- 1 開催日時:平成17年3月30日(水)午後2時~3時30分
- 2 会 場:平安会館「平安」
- 3 出席者:京都府交通需要マネジメント推進会議委員他
(会長:北村隆一・京都大学大学院教授 会長代理:中川大・京都大学大学院助教授)
- 4 会議の概要
京都府交通需要マネジメント施策基本計画(案)について、原案どおりで合意を得た

主な意見

- ・基本計画のサブテーマ「~豊かな都市圏・交通・環境をめざして~」とあるように、この基本計画は都市のあり方や、高齢者のモビリティ、環境、教育など幅広く交通の問題を捉えており、この方向で具体化させて欲しい。
- ・府民からの意見提出が少なかったのは、広報の問題と言うよりも市民の側に、これまで何回も意見を述べてきたが何も変わらない、何も進まないという思いが広がっているからではないだろうか。そういう意味で、今回の計画を是非実行していくべきだし、市民にも支持され、期待されているものだと思う。
- ・公共交通の利用促進からは 情報提供の問題、 乗り継ぎの問題、 駅前広場の利用の問題が重要。
- ・駅構内でバスの情報提供をすることは、その日に乗り換えをする人のためだけではなく、それを常々伝えることで、その駅を使っている人に、この駅からはどこへ行くバスがあるんだということを伝える効果があり、それが需要創出にもつながり重要である。
- ・兵庫県(川西市・猪名川町)のモビリティ・マネジメントの実験では1年後の状況を検証したところ、多くの人たちが交通行動を変えたままで、この施策の継続性があることがわかってきており、この動きを近畿全体に広げていきたい。